

石老山山行報告（2023年1月22日（日））

参加者： 伊藤（L）、中島（2名）

行程： 8:53 相模湖駅 9:00＝（バス）＝9:08 石老山登山口－9:25 駐車場 9:30
－9:45 顕鏡寺－10:15 融合見晴－10:50 石老山山頂（702m）昼食 11:15－12:00 大明神見晴－13:08 プレジャーフォレスト前 13:10＝（バス）＝13:20 相模湖駅

石老山は相模湖の南岸にある700mの低山であり特徴も少ないが、手軽に登れることからハイカーには人気の山である。数年前の台風で通行止めとなっていた顕鏡寺からの登山道が昨年復旧したとのことなので行ってみることにした。

相模湖駅で伊藤・中島が合流、今回の参加者は2名である。バスには団体も含めて座席が埋まるくらい乗っており、そのほとんどが石老山登山口で下車した。バス停から少し戻り信号からT字路を左の車道に入る。おそらく下車した人すべてが石老山に向かうと見え、三々五々歩いていく。車道を歩いて9時25分に病院の先にある駐車場に着いた。

今日は曇りがちで空気が冷たいが車道歩きで体が温まったので、上着を調整する。駐車場の裏から登山道が始まり、うっそうとした林の中を登り出す。参道らしくすり減った石段を上ると石の間を水が流れていたり、岩の間を通ったりしながら行く。ところどころに大きな岩や変わった形の岩があり、奇岩を見ながら登ると9時45分に顕鏡寺に着いた。登山道では数人が前後にいただけだったが、ここには10人くらいの方が休んでいた。八方岩を過ぎるとその先は岩がなくなり普通の登山道を登って10時15分に融合見晴に着いた。その後は急な斜面もあるが、緩めの尾根道を登り10時50分に石老山山頂に到着した。

山頂からの富士山は雲が多くほんの一部しか見えていない。早めの昼食を食べているうちにどんどん山頂に到着する人が増えてきて、20人以上いたのではないだろうか。山頂は見晴らしがあまりないし寒いので11時15分に大明神方面に下る。

前を歩いていた15人くらいの団体を追い越すと、まったく人のいない静かな山道となった。篠原への分岐を過ぎると道は急斜面が多くなり、木の根や小石のある歩きにくい道となる。しばらくは下って少し上りまた下って少し上りを繰り返し、12時に相模湖が良く見える大明神展望台に着いた。ここから下ると道が左にトラバース気味につけられているが細くて歩きにくい。これも新たに付け替えられた道であろうか。さらにロープのある急斜面を下ると樹木が切り開かれて日当たりの良い斜面に出た。相模湖が目の前にあって見晴らしはすこぶる良いのだが地面がぐちゃぐちゃの泥んこである。天気も良くなり青空と相模湖を楽しみ、足元に注意しながら下った。12時40分ごろ車道に出てキャンプ場を過ぎそのまま車道を歩いて13時08分にプレジャーフォレスト前バス停に着くと2分ほどでバスがやってきた。相模湖発13時42分の電車で高尾に行き反省会を開催後解散した。

本日は軽い山歩きとおいしいビールに楽しい会話で有意義な休日であった。

（伊藤）